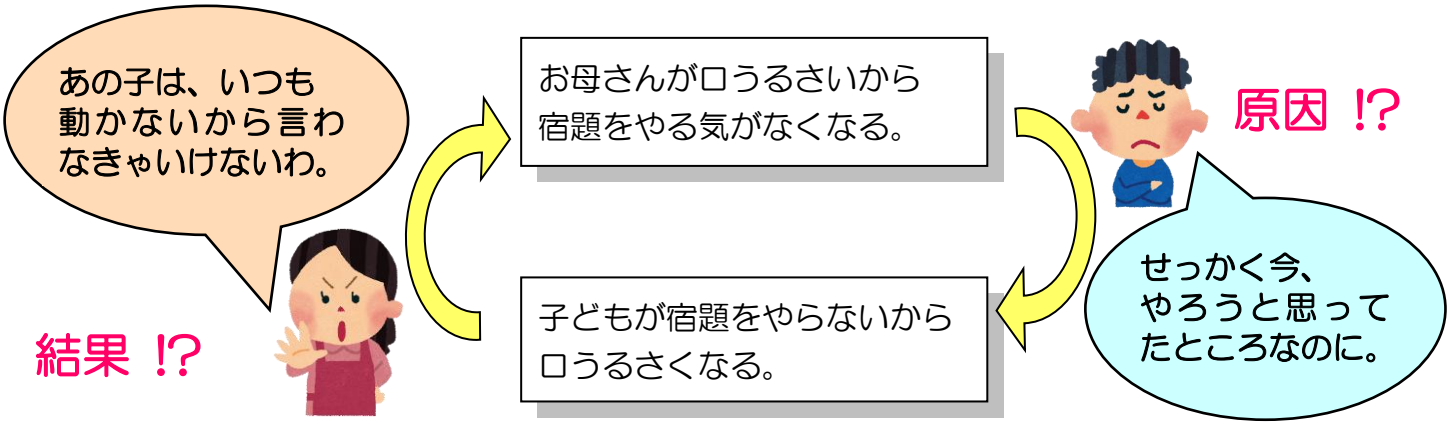
生徒相談だより

ぎふ国際高等学校
2025年６月　No.3

少しずつ暑い日が増えてきて、一日に太陽が出ている時間が長くなりましたね。今回は、“太郎君とお母さん”の困っていることについて紹介します。

困っていることを解決しようとするときに、よく「何がダメなのかな？」、「原因は何だろう？」という疑問を耳にします。「原因」を探して対処すれば、「結果」が変わるという考え方ですね。では、次の場合、どちらが「原因」で、どちらが「結果」でしょうか？

太郎君は、家に帰って宿題をやろうとしていても、お母さんから「宿題はやったの？早くしなさい！」と言われるので、やる気がなくなるようです。お母さんは、太郎君が宿題をやろうとしないので、ついロうるさくなるようです。



太郎君の話を聞くと、宿題ができないのはお母さんが「原因」で、お母さんが静かにしてくれさえすれば、太郎君は勉強ができることになります。でも、お母さんの話を聞くと、ロうるさくなるのは太郎君が「原因」で、太郎君が宿題をしてくれさえすれば、お母さんは叱らずにいられることになります。これでは、どちらが「原因」なのか分かりませんね。

「原因」を探すよりも、**「何をすると上手くいくか」「今までに上手くいったときは何をしたか」**に着目した方が、実は解決しやすいです。上の例の場合、今までに太郎君が図書館や友達の家に行って宿題を済ませたことがあるかもしれません。また、お母さんが買い物に出かけたときは、家でロうるさくならず、太郎君も宿題ができていたかもしれません。解決のかけらは、日常の中に溢れています。

次回は、上手くいっていることに着目するコツを紹介したいと思います。